

# 柿野住民協議会たより

夢のある柿野、住んでいて楽しい柿野、いつまでも住みたい柿野・・・を目指して

「棚田まつり」  
盛大に開催される！

柿野住民協議会  
深野支部長 杉山 憲一

素晴らしい秋晴れに恵まれた十一月十日(土)「深野だんだん田」に、二〇〇〇個の竹行灯が灯され、棚田一面に映し出す幻想的な灯りに、押し寄せた大勢の人たち(約一〇〇〇人)が魅了されました。

平成十一年、「日本棚田百選」に、認定された「深野だんだん田」は、唯一の景観地として、日頃写真愛好家や散策に訪れる客は少なくありません。そんな中、早くから地域の念願であった棚田近くに「公衆トイレ」が完成！ 記念式典に合わせて一層多くの皆さまに「深野だんだん田」を知ってもらおうと発想。振り返れば八月末から、深野支部役員会議を開催。竹行灯二〇〇〇個を目標とした。班分けした地域の人は、残暑厳しい太陽の下、真竹の伐採作業、連日連夜、作業場にて決められた寸法(約二十五cm)に切断、そして三種類のドリルでの穴あけ作業、汗にまみれた日々が続きました。これらの作業も無事終了した十月中旬、四〇枚の田に一m間隔に、風対策の為ラップで覆った、二〇〇〇個の竹行灯を仕掛けました。

さて、当日、当地域は松阪牛の主産地である事から、「特産松阪牛丼」をはじめ、棚田米、採れたて野菜の販売等大盛況。東屋では棚田風景写真がズラリと展示、

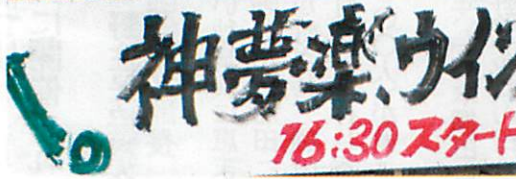
ネイチャー教室、嬉野からお招きした、「神夢楽」美しい歌声がこだました音色は素晴らしいものでした。

午後四時一斉に二〇〇〇本の竹行灯に点灯、日没と同時に浮かび上がった鮮やかな光の列に酔いしれている中、飯南バンド「ウィンズ」の演奏が流れ更に、感動に包まれました。

徐々に消灯していく、竹行灯を見ながら、きつとこの深野地域に「夢」と「希望」を与え又、深野地域の皆さまの心がひとつになった「棚田まつり」であったかと痛感しました。

最後にこの「棚田まつり」に、携わって頂きました皆様に厚くお礼申し上げます。本当にありがとうございました。





- (概要)
- 棚田の枚数 約五五〇枚
  - 石垣の段数 約一二〇段
  - 延長 約一二〇キロ
  - 石垣の総面積 一三、五ha
  - 積み上げられた石の数 約三〇一万個

深野支部の町づくり  
 深野だんだん田の歴史。  
 棚田の開発は、今から約四三〇年以前から始まった様です。室町時代中期から江戸時代初期にかけて開拓されたと言われています。この時代深野上郷は北畠氏の重要な拠点であり、白猪山の西方約一kmのところに「のろし場」があり数多くの侍たちが食料を確保する為、田畑を開墾したと推測されています。幾重にも積まれた自然石が織り成す風景は正に石の芸術です。先人の知恵と技術は、想像を絶するもので山間地帯の歴史を物語る貴重な文化遺産です。

トイレの完成を祝いテープカットする栃木棚田部会長等 (左から2人目)

写真愛好家の棚田写真がズラリ

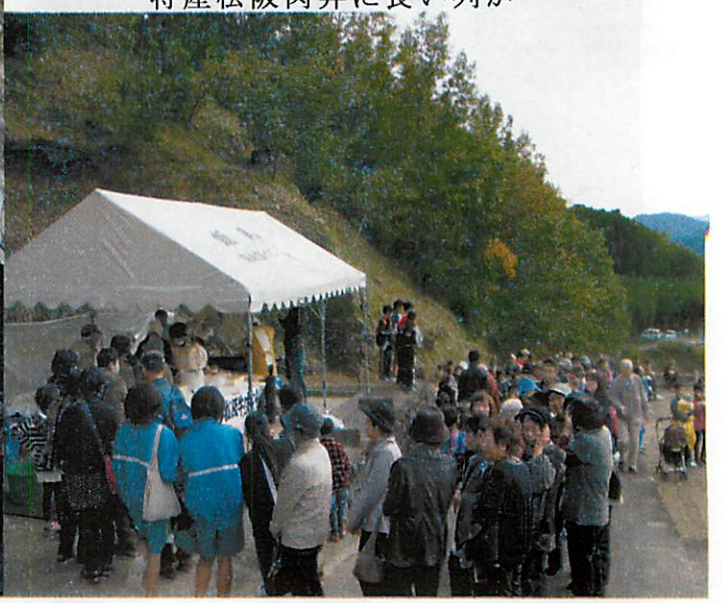


好評の棚田米



神楽楽の歌声がこだまする

特産松阪肉丼に長い列が・・・



竹行灯に囲まれ演奏する飯南バンド(ウインズ)

地域振興部会議



横野・深野役員会議



横野支部全体会議

横野支部のまちづくり

☆地域振興部会

副部長 森 孝子

二年目の柿野住民協議会「横野支部」地域振興部会は、常に横野支部五部会の活動状況の把握・指導、予算執行状況の確認、住民協議会たよりの発行又、横野支部全体会議等の開催をして多くの意見を聞きながら更に、深野支部との連携を深めながら進めています。

☆環境福祉部会

部長 鈴木 雅巳

六月三日(日)飯南管内全域に実施されたゴミ拾い運動に合せ、環境福祉部会も率先して参加、普段きれいな地域の様に見えても、多くのゴミを拾いました。

六番組地内にて



ゴミ拾いを終えた後は昨年引き続き市内から購入した夏の花「マリーゴールド」等可愛い蕾の花苗を推進委員全員の気持ちと共に全戸へ配布しました。満開になった軒先の花が、人の心を和ませてくれました。



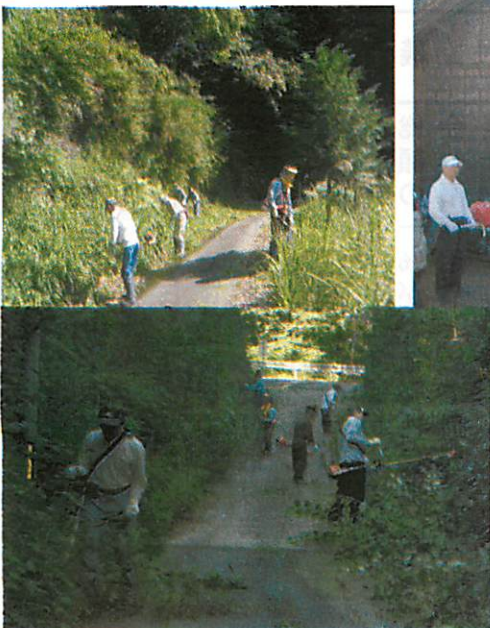
☆農林部会

部長 稲葉 丈治

七月八日(日)「真夏の太陽が照り付ける前に」と言う思いから、午前七時三〇分、七番組内地蔵さん前に会員三〇人集合、昨年に引き続き地蔵寺前と、横谷と神路山と結ぶ林道、延長一四〇〇Mの草刈を実施。多くの草刈り機械のエンジンの音がこだまして、活気に満ちた草刈り作業でした。



上=作業の打ち合わせをする会員  
左=2枚  
林道横谷・神路山線



## ☆教育文化部会

部会長 武藤 大三郎

六月十日(日)飯南体育センターにおいて、昨年に引き続き「健康管理体操」を開催。インストラクターを招き参加者約四〇人が気持ちの良い汗を流しました。子どもの参加がひと際目立ち人間の「機敏さ」を発揮する反復跳びは会場内われんばかりの音が響きました。



又、夏休みを目前にした、七月二十二日(日)飯南体育センターにおいて、子ども保護者、四〇人の参加を得て、トマトーズの正しい自転車乗り方等を教わり、終了後は、地元自転車店様の協力を得て自転車点検を実施しました。



## ☆防災部会

部会長 西村 俊一

九月二十日(木)横野生活改善センターにおいて、横野支部老人の皆さん二〇人の参加を得て消防署員指導の下、初期消火又、事故、火災を想定して正しい「一九番通報」として、消防署に電話をかける訓練を実施しました。これらの訓練は真剣なものでした。

119番・・・通報する久世さん



11月25日(日)三番組地内において、横野消防団員の指導の下、約70人の参加を得て、自治会が管理する「消防ホース」を漏水点検兼ね放水訓練を行いました。不良ホースもあり、今後新しいホースを交換して行きます。



●毎月十一日の買い物はマックスバリュ大石店で。

### 柿野住民協議会からお知らせ

毎月十一日、マックスバリュ大石店で買い物しますと、黄色いレシートを受け取ります。そのレシートをレジ付近の「柿野住民協議会」の、ケースへ入れて下さい。総額の1%が、柿野住民協議会へ事務用品として還元されます。今年度前期二五〇〇円分の事務用品を受け取りました。十一日の買い物は、是非マックスバリュ大石店でどうぞ・・・



### 編集後記

年の瀬も押し迫りました。迎春の支度で何かとお忙しい事と思えます。二年目を迎えた、柿野住民協議会の行事にご協力ご支援を頂き誠にありがとうございます。今後とも何卒よろしく願います。どうか良いお年をお迎え下さい。